

施策番号	332	施策名	生涯学習の推進	主管課名	生涯学習課
総合計画 体系	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	令和 2 年度課長名	黒瀬 豊
	関係課名			シート作成者	岩谷 理恵子

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→	ア	町民人口	人	見込値			12,143	11,970	11,800
						実績値	12,926	12,754	12,625	
イ 町内の生涯学習施設	→	イ	町内の生涯学習施設	施設	見込値			17	17	17
						実績値	17	17	17	
ウ	→	ウ			見込値					
						実績値				
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 生涯にわたって学習するテーマを持ち学習してもらおう	→	ア	何らかの学習活動を行なっている町民の割合	%	目標値	50.0	50.0	50.0	40.0	41.0
					実績値	40.6	38.4	42.4		
					達成率	81.2%	76.8%	84.8%	106.0%	103.4%
イ	→	イ	公民館講座受講者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
					実績値	22,938	24,470	15,734		
					達成率	114.7%	122.4%	78.7%	78.7%	76.8%
ウ	→	ウ	公民館利用者数(参考指標)	人	目標値	83,000	83,000	83,000	70,000	70,000
					実績値	86,786	90,741	65,237		
					達成率	104.6%	109.3%	78.6%	93.2%	93.2%
エ	→	エ	住民一人当たりの図書貸し出し冊数(参考指標)	冊	目標値	10	10	10	10	10
					実績値	7.6	6.9	6.8		
					達成率	76.0%	69.0%	68.0%	68.0%	68.0%
⑤ 成果指標設定の考え方	町づくりを担う最大の力は住民であり、中でも自ら学ぶ人間が実践に繋げていくというために、公民館の講座を利用、図書館利用により学習意欲が高まることを設定した。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	ア 町民アンケート(対象者1,000人中481人が回答) イ・ウ・エ 公民館講座受講者数・公民館利用者数・住民一人当たりの図書貸し出し冊数ともに担当課調べ。					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	自主的な学習活動の継続と普及。	学習内容の企画と情報提供。 会場の提供。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度 の 評価結果	① 成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?) 中央公民館利用者はコロナ禍で活動に制限がある中、教室及び講座の中止により減少したが、学習活動に取り組んでいる人の比率は42.4%で昨年より4ポイント増加しており、一定の成果がみられる。図書館図書の貸し出し冊数は一定の水準を維持しており、学習活動を支えているものと思われる。第1次鏡野町子ども読書活動推進計画に基づく読書環境整備や読書推進事業(ブックスタート、セカンドブック)を実施している。 <input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
	② 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?) 公民館や総合文化施設など社会教育施設の数に隣接する市町村と比較すると多く、各施設に常勤職員を配置し、住民の学習意欲を向上させる体制が整っている。 図書館の開館時間を変更するなど利用しやすい環境を整え、サービスの向上を図っている。 鏡野町の特色を活かしたシニアスクール事業は、中高年の方の生涯学習活動の向上のひとつになっていると考えられる。 県内同規模の人口割合の町村図書館としての図書貸し出し冊数は上位を保っている。 <input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
	③ 住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?) 住民の42.4%が日ごろから学習活動に取り組んでおり、学習活動に勤しんでいると思われる。 <input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度	
■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?) コロナ禍により、前半の中央公民館、地区公民館主催の講座などは中止をしたが公民館講座の申し込みは増加した。生涯学習活動を支える図書館では、子どもの読書活動の推進を図るため「第1次鏡野町子ども読書活動推進計画」に基づき、継続的に図書を購入するほかリクエストに応えるなど生活・学習活動の提供を図ることができた。また、海外交流体験事業(経済交流)について、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施できなかった。総会、委員会など書面決議などやり方を工夫して取り組む機会が増えた。 <input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下	
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向(うまくいかなかった取組や事務事業は?その原因は?)	
コロナ禍で、計画どおりに講座の提供ができなかったが中高年以外の年齢層に生涯学習に取り組めるような環境を整え、また取り組めるよう働きかけを行う。社会情勢にあったテーマを生生涯学習にとりあげ、講演会なども意欲的に受講していただけるような内容にしていくことが必要と思われる。 各地区公民館の老朽化に伴う改修を引き続き行っていく必要がある。 海外交流事業などの渡航を含む事業については、新型コロナウイルス感染症などの外的要因による影響を受けやすいため今後の交流方法を検討する必要がある。	